

本校児童の実態と願い

- ・ 明るく素直で与えられた課題や指示されたことをしっかりと行う。
- ・ 主体的に行動することが苦手である。
- ・ 自ら課題をもち、意欲的に解決する力と基礎学力の充実を図ることが必要である。
- ・ 生活習慣の変化に伴って、長期的な体力の低下や肥満傾向児の増加が見られる。

教育目標

何事にもすすんで取り組み、気概をもって立ち向かう、心豊かな児童の育成をめざす

一小一中グランドデザイン
【一小一中一貫教育】

2019年度
須賀川市立第一小学校
グランドデザイン

2019年度 須一スローガン

トライ・トライ・トライ

1 授業研究会の共催 2 児童生徒の合同学習の実施 3 相互の専門性を生かした指導 4 PTAの連携による地域一体での子の育成

1 心の豊かな子ども(交流)

【努力目標】

- 「真・善・美」を求め、仲間と協力し合い、支え合って楽しく生活する子ども (思いやりの心の育成)
- 1 一人一人を生かす学級経営
 - 2 道徳教育の実践化 (道徳の時間の充実)
 - 3 協力的な実践活動 (児童会活動の充実)
 - 4 基本的な生活習慣の定着

2 健康でたくましい子ども(挑戦)

【努力目標】

- 進んで体を鍛え、安全に気をつけ、物事に気概をもって立ち向かっていく子ども (すこやかな体の育成)
- 1 体力・運動能力の向上
 - 2 健康・安全な生活環境づくり
 - 3 食育の充実
 - 4 健康的な生活習慣の定着

3 意欲的に考える子ども(自立)

【努力目標】

- 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、これらを活用して自ら学びを創造していく子ども (自主的学習習慣の育成)
- 1 主体的な学習の構えづくり
 - 2 基礎的・基本的事項の徹底
 - 3 体験活動の重視
 - 4 基本的な学習習慣の定着

- 1 子どもたちの学習や生活の様子、よさや課題をご家庭と共有できるように教育相談活動をすすめていきます。
 - ・ 2学期末に全家庭対象の教育相談を実施します。
 - ・ 家庭との相互連絡方法を学年毎に工夫し実践します。
 - ・ いじめ見逃し「0」にします。
 - ・ 生活アンケートで学校が楽しい割合95%以上にします。
 - ・ スクールカウンセラー・支援員を効果的に活用します。
- 2 道徳指導の充実に努めます。
 - ・ 「命の大切さを考える日」「震災を考える日」の授業を通して、生命の尊さをじっくりと考えさせます。
 - ・ 「自分を見つめ、語り合う『特別の教科道徳』の授業」の実践の様子を、地域や保護者の皆様に年1回以上公開します。

- 1 体力を向上させます
 - ・ 体育の授業において、一人一人の運動従事時間を20分間確保していきます。
 - ・ 水泳学習を充実させます。
 - ・ 一日の身体活動時間60分以上の確保を目指します。
 - ・ 体育と食育・健康教育の実践で、肥満率を全校平均2%低下させます。
- 2 登下校の安全を確保します。
 - ・ 集団登校、集団的下校を継続実施し、地域と連携した見守り態勢を継続していきます。
 - ・ 危険回避能力の育成をめざし、地域の実態に応じて通学路の変更・危険箇所の確認を適切に行います。

- 1 学力の向上を図ります
 - 質の高い家庭学習習慣の定着 (保護者評価90%目標)
 - ・ 一中と共同した学びの構えの徹底 (授業スタンダード・家庭学習スタンダードの活用)
 - ・ 全教員が「学び合い」を生かした授業研究を進めます。
 - ・ 学年に応じた内容の家庭学習 (学年×10分間) を95%の児童に達成させます。
 - 小中一貫教育を意識し、円滑な小中連結のために、高学年での一部教科担任制を実施します。
- 2 外部講師を活用したふるさと学習を実践します。
 - ・ 地域の方を外部講師に招聘し、ふるさとを学ぶ体験活動を各学年年3回以上実施します。
 - ・ 生活科、総合、クラブ活動等で外部指導者を活用しての専門的指導を実施します。

○学校ホームページの発信 (1日1回をめざします) ◎一斉メール配信による緊急連絡網の実施
○各種たよりによる発信・充実 ・『学校だより』『まごころ』(生徒指導)・学年・学級だより等の発信
自信に満ちた子どもたちの姿を育みます。